

## タンク底部の溶接部に関する今後の調査検討事項（案）

## 1 水張検査における不適合事例

一部の消防本部からの聞き取りから、底部溶接部の破断事例があったほか、側板の腐食等による漏れの事例があった。

来年度は、全消防本部に水張検査における不具合事例のアンケート調査を行い、詳細な分析を行うこととする。

## 2 供用中のタンク底部溶接部からの流出事故事例

平成 22 年から平成 26 年の間に供用中のタンク底部溶接部からの流出事故について調査した結果、3 件が確認された。

うち 2 件は 10,000KL 以上の旧法タンクであり、当該溶接部は重ね合わせ継ぎ手であった。残り 1 件は 2,000KL の新法タンクであり、当該溶接部は突き合わせ溶接部であったが、施工不良と腐食により溶接部が貫通し、流出したものであった。

## 3 タンク底部溶接部補修の実態調査

タンク底部溶接部の補修状況について調査した結果、設置が古いタンクほど補修率が高い傾向があった。

この傾向について、新法タンク・旧法タンク（溶接施工法確認試験の有無）による違いか、老朽化によるものか等、さらに分析を行うこととする。

## 4 溶接部補修の熱影響の調査

溶接部補修の熱影響による残留応力や脆性破壊の可能性について、来年度、シミュレーション及び試験片により確認する。